

研究機関：広島大学

研究課題名 食道癌に対して化学放射線療法を受けた患者の経過観察において腫瘍マーカー測定の有用性を探索的に評価する統合解析（研究番号 JCOG2106A）

研究責任者名 広島大学原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人

研究期間 2021年11月22日(倫理委員会承認後)～ 2024年9月30日

対象者

臨床試験 JCOG0502 に参加し、B 群、D 群（化学放射線療法群）に登録され治療を受けられた患者さん、および 臨床試験 JCOG0909 に参加して治療を受けられた患者さんです。

意義・目的

化学放射線療法を受けられた臨床病期 I-III 期食道癌患者さんにおいて、治療後の経過観察中に測定された腫瘍マーカー（CEA、SCC-Ag）検査が、再発や増悪の早期診断に有用な検査となっていたのかを調べることを目的としています。

方法

JCOG0502/JCOG0909 の登録後に行った腫瘍マーカー検査の日付と検査値を収集します。また、増悪・再発を認められた方については、その診断日とどのような方法で診断されたか（理学所見、CT 検査、上部内視鏡検査等）の情報も収集します。これらの情報と JCOG データセンターで保管している既存の診療データを照らし合わせて、腫瘍マーカー検査がどの程度有用な検査となっているかを調べます（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

研究代表者 国立がん研究センター中央病院 頭頸部・食道内科/消化管内科 加藤 健

研究事務局 京都大学医学部附属病院 放射線治療科 坂中 克行 国立がん研究センター

中央病院 臨床研究支援部門 JCOG データセンター

他 JCOG 食道がんグループ 35 施設

国立がん研究センター中央病院に情報を集め（研究責任者 加藤 健）が解析します。

試料・情報の管理責任者

